

名前： _____

個別年間計画・発達状況チェック表②

		満3歳 自立心を育む												満4歳 自発性や意欲を育てる												満5歳 主体性と社会性を育てる											
		36ヶ月	37ヶ月	38ヶ月	39ヶ月	40ヶ月	41ヶ月	42ヶ月	43ヶ月	44ヶ月	45ヶ月	46ヶ月	47ヶ月	48ヶ月	49ヶ月	50ヶ月	51ヶ月	52ヶ月	53ヶ月	54ヶ月	55ヶ月	56ヶ月	57ヶ月	58ヶ月	59ヶ月	60ヶ月	61ヶ月	62ヶ月	63ヶ月	64ヶ月	65ヶ月	66ヶ月	67ヶ月	68ヶ月	69ヶ月	70ヶ月	71ヶ月
心身の発達	運動	粗大運動の基礎ができる 三輪車がこげる 片足で2〜3秒立つ						ケンケンができる 片足を交互に出して階段を昇り降り ボールの下投げができる						手と足、右と左の協応運動 ができる 「～しながら～する」 身体のコントロールが上手になる がまんできる(抑制力) ボールの上投げができる どちらの足でもケンケンができる						スキップができる						基本動作の完成 身体全体を協応させた複雑な運動ができる 地面から足をはなした不安定な姿勢で全身制御ができる (木登り、竹馬、棒のぼり、鉄棒) ジグザグドリブル、片足交互跳びなど複合運動ができる 相手に合わせて柔軟に動きを調整できる(キャッチボール)											
	手指操作	ハサミで一回切りができる						手先の器用さの能力が高まる 紐を結ぶ 左右の手を交互に開閉する						目と手の協応性の完成 ハサミで続けて切る 逆円が描ける 四角形が描ける 頭足人に胴体がつく						左右の協応動作がほぼ確立する 安定して両手の交互開閉ができる						雑巾をしぼる 両手の指を交互に動かして細かい動作ができる リボン結びができる											
	言語	話し言葉の基礎ができる 自分で気持ちを短い言葉で伝える						なんで？どうして？と何でも質問する 時制の表現が現れる						話し言葉の一応の完成 相手のことを二人称で呼ぶ 自分の気持ちを長文で伝える 自分の意思を理由とともに主張する まあまあ、ちょっとなど、中間の表現を使う						順序立てて話ができる 言葉を使って思考する 経験したことを思い出しながら接続詞を使って話す 助詞を正しく使う しりとりができる(音節分解) 2000語						会話に文脈がみられるようになる 書くことに興味を持つ 体験をもとにその時の感情を言葉で表現できる 相手や状況に応じた言葉を使う カ行ラ行サ行の発音が明確になる 2400〜3000語											
	情緒	自我がよりはっきりする 自立への意欲の高まり ＜誇り、恥、罪悪感など色々な種類の感情がほぼ出揃う＞ 愛着行動の内在化 社会性の発達 ＜はじめての人や物に不安が見られることがある＞ ＜こころの葛藤から指すいなど体に関する癖ができることがある＞						＜反抗期によっておこる強情やわがまま＞						自意識の芽生え ＜けんかが増える＞ 思いやりが発達する 小さい子への配慮がみられだす ＜できる、できないで揺れ動き不安になる＞ ＜タオルや人形などのこころの支えを持つことがある＞						自制心のあらわれ 「～だけれども～する」ことができる 新しい活動に意欲的に挑戦しようとする						人間関係の中で感情の調整ができる 仲間同士で助け合う姿が見られる 理由がわかって納得して行動する 友達と協力して役割を理解して果たせるようになる 年少者の世話をしようとする						思いが深まり感受性が豊かになる。相手の気持ちを推測できるようになる 多面的に自己や他者を評価できるようになる					
	歯	はえかわりのはじまり																																			
生活	食事	自分で食べる ほとんど自分で食べられる すべて自分で食べられる						様々な食べ物をすすんで食べようとする						口を閉じてものを噛む						＜食べ慣れないもの、嫌いなものもがんばって食べようとする＞ 箸を使い始める(あそびの中でする)						身体と食物の関係に関心を持つ 箸を使って食べる						箸を正しく使う 箸で小さいものをつまむ					
	排泄	自分で行ける (大人は後ろで見ている) 排尿の後始末を不完全ながら自分でできる 排泄の間隔が長くなる						排泄の自立 排尿のあと自立して紙をつかう 排尿の後始末がほぼできる						パンツやズボンをおろして、全部脱がないで排泄できる 排便後、自分でお尻をふく						自立して手洗いをする						見通しをもって自分で判断して排泄にいける 排泄の後始末を上手にする											
	睡眠	午睡や休息の意味がわかり自分からすすんでする																																			
	着脱	自分でパンツやズボンをはける 上着を自分で脱ぐ ボタンをはめる 帽子を自分で上手にかぶれる						だいたい自分で着脱できるようにする 靴下が自分ではける						着脱の自立 身のまわりのことを順序だててしようとする 衣服の表裏、前後、左右がわかって着脱する						その時の活動に合わせて適宜衣服を調節する						身の回りのことが手順よくできるようになってくる 靴を揃える、自分のものを管理できるようになる						必要に応じて自分で衣服を調節する					
	清潔	自分で袖を上げ手洗い後袖を下す 体に水をはねかけないで手を洗う																																			
社会性	(年少児) ・大人の朝のあいさつにその子なりにこたえる ・大人がルールや物の扱い方を説明するのに参加し守ることに関心を示す ・一緒にする生活習慣の行為の中で他の子を待てる ・部屋を出るとき大人の指示に従う												(年中児) 保育者や園で働いている人に挨拶ができる 人の遊びを尊重し、自分の使いたい道具を借りる時、「かして」と言ったり、使っている人が終わるまで待つことができる 遊び・着脱・散歩の時、年下の子どもを助け、お互いに相手に関心をもち、お互いの言うことを聞き合う 園で働いている人たちを尊敬し、その仕事に関心を示そうとする 保育者が何か始めようとしたら注目し、保育者の提案に従うことができる 仲間や他の人の発言を尊重し、中断せず終わるまで聞くことができる 清潔に関心をもち、手洗い、うがい、洗顔、服装を整えようとする												(年長児) 自分の持ち物、自分の位置、場所がわかり、常に自立して行動することができる 名前を呼ばれたら明瞭な返事ができ、保育者の質問に答えたり、自分の考えや思いを発言したりすることができる お互いが必要な時に助け合い、自分の意見を言ったり、相手の言っていることも聞こうとする気持ちをもつ 自分のふるまいや行動が、クラスまたは他の子どもにも与える影響を考慮に入れられるようになる クラス全員の名前がわかり、他のクラスの友だちの名前が何人かわかり、園で働いている大人の名前がわかる 来園者に挨拶ができ、親しみをもって受け入れることができる 身だしなみを整えたり清潔にすることの必要性を理解し、自らすすんで行う 友だち(仲間)が助けを必要としているかどうか、またそのような子どもがいれば何をどのように助けたらよいかわかる												
仲間関係	集団生活 ・一緒にする生活習慣の行為の中で他の子を待てる ・部屋を出るとき大人の指示に従う																																				
あそび	子どもの姿	役割遊び 日常生活を再現した多様なごっこ遊び 積み木で意図をもってつくる ジャンケンの勝ち負けがわかる 貸し、借り、交代などの決まりがわかる 色、形、数、量などに興味を持つ 男女のあそびに違いがでだす 平行あそび						積み木を高く積もうとする 手先を使って集中してあそぶ 種類に分けたり並べて遊ぶ ルールのあるあそび						役割あそび 劇あそび 積み木で円柱のレンガ積みをする ＜同性であそぶことがふえる＞ ジャンケンを理解して遊びの中で楽しむ ルールのあるゲームを楽しむ						積み木でお友だちと協力してレンガ積みを高く積もうとする 遊びを通して、数や記号、文字に関心をもち						役割あそびの充実 劇あそび 探索あそび 積み木 イメージを共有して高さや平面を使って共同制作 役割分担して協力ができる 劇あそびで「演じる」ことができる 指先の巧緻性(器用さ)が高まる 自分たちでルールを決めて集団であそぶ						お話づくりを楽しむ 指編み、リリアン、織り機を楽しむ 共同あそび					